

## インドネシア共和国における森林保全事業(REDD+) に関する業務提携について

グリーン・コミュニティの実現を目指す日本アジアグループ株式会社(コード:3751、本社:東京都千代田区、代表取締役会長兼社長:山下 哲生、以下「日本アジアグループ」)はワイエルフォレスト株式会社(本社:福岡県福岡市、代表取締役社長:阿久根 直人、以下「YLF」)とインドネシア共和国において行う森林保全事業に関し、2017年12月1日に業務提携契約を締結いたしました。

本事業は、REDD+(Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation: 森林減少および劣化に由来する排出量増加の抑制)の推進により、二国間クレジットなどの制度を活用した緩和策およびCO<sub>2</sub>排出権ビジネスへの参画を目指すものです。本事業では森林の減少劣化要因への対策に加えて、森林の保全活動による植生の回復および成長の促進と、湿地帯や内陸の裸地での植林活動を実施し、保護林内に点在する村落コミュニティの人材育成など森林を維持管理する体制と仕組みづくりにも貢献してまいります。

日本アジアグループ傘下の国際航業は、2009年よりまだ黎明期にあったREDD+に深く関わり、『概説REDD+』(国際航業著(2013))など専門書の出版も行っています。今後は調査研究体制、技術力、海外での知見に金融のノウハウを加え、事業を通じた社会的課題の解決が、新しい市場の創出につながるよう本事業を推進してまいります。

### ■事業概要

事業地	インドネシア共和国南スマトラ州オーガン・コムリン・イリール県沿岸域保護林
面積	対象保護林 66,500ha(内、REDD+事業許可取得面積 23,500ha)
面積分布	海岸線距離 約 180km、幅約 2.5~15km
主要構成樹種	マングローブ(60%)、湿地性及び内陸性熱帯林(40%)
自然状況	対象地域面積の65%で森林減少および劣化が見られる
森林劣化減少要因	①森林火災、②不法伐採、③人工水路造成、④エビ養殖池造成、による森林劣化および減少
事業内容	現存する森林の保全管理及び、荒廃地での植林活動

### ■YLF会社概要

会社名	ワイエルフォレスト株式会社(YL Forest Co., Ltd)
本社所在地	福岡県福岡市博多区築港本町6番1号
設立	1970年(昭和45年)(旧商号:山本木材産業株式会社)
代表者	代表取締役会長 山本 亮 代表取締役社長 阿久根 直人
事業内容	植林事業および排出権取引に関する事業

### 【お問い合わせ先】

日本アジアグループ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部

TEL: 03-4476-8007 e-mail: [press@japanasiagroup.jp](mailto:press@japanasiagroup.jp) URL: <http://www.japanasiagroup.jp/>